



パンデミックへの備えの怠りを批判



私は決算特別委員会で、新型コロナウイルス感染症への対応が遅れた問題を質しました。

国や県、及びさいたま市では、SARS、MARS、そして新型インフルエンザのパンデミック(感染症の世界的大流行)を受け、平成26年に「新型インフルエンザ等対策行動計画」を定め、感染症への対応を決めています。行動計画では受診患者数を最低13万人から最大24万人と想定しており、入院数をはじめ、検査や病院の受け入れ数も想定しています。

私は「行動計画を立てたはいいが、実際には保健所

や健康科学研究センター(さいたま市の衛生研究所の位置づけ)の体制強化は図られなかったのではないかと質しました。市は「体制は強化してきた」と言うものの、いずれも人や予算は増えておらず、体制はほとんど強化されてこなかったことが明らかになりました。

私は、新型コロナウイルス感染症対策の初動の遅れの教訓からも、市内にたった1ヶ所しかない保健所をもう1ヶ所増設すること、健康科学研究センターの検査体制の強化、また感染症に対する研究を進めるなどの早急な対応を求めました。

決算委員会

水道料金、引き下げできる!



私は決算委員会で、水道料金の引き下げを求めて質問にたちました。質問で、水道事業の累積資金剰余が中期経営計画で16億5100万円の見込みに対して実際は約90億5000万円だったこと、企業債残高が約505億円の見込みに対して約445億円だったことなどを明らかにしました。市も「すべて計画値をうわまわっており、計画的かつ効率的な事業運営を行ってきた」と自負しました。

また、施設整備についても質し、市は耐震化についても老朽管の更新工事についても順調に進捗していることを認めました。

私は、水道事業会計に財政的なゆとりがあることを確認したうえで、水道料金の引き下げを求めましたが、市は「令和12年度をピークに人口減少に突入した場合、財政状況が極端に悪化する」として引き下げを拒みました。しかし人口減少はさいたま市に限った話ではありません。私は「今の市民生活の現状に鑑み、引き下げをぜひ検討すべき」と強く求めました。

保健福祉委員会

保育園の休園基準がつくられる

甚大な被害を受けた昨年の台風19号。しかし、認可保育園には休園基準がなかったために、台風の中でも保育士が出勤するなど現場は大混乱となりました。党市議団は現場の声を受けて休園基準の策定を求め、「厚生労働省で基準作りを検討している」との答弁を得てきました。

私は今議会でもその後の進捗状況を確認し、市は「基準策定の検討を進めるため、さいたま市私立保育園協会との勉強会を開催し、検討を進めてきた。新型コロナ対応の中で、本市の感染症に関する臨時休園等の取り扱いについても整理し、休園基準のガイドラインを策定し、7月に保育施設に周知した」と答弁しました。今後、園を通じて保護者への周知がはかられていきます。



要求実現!

北区内の2か所の踏切 安全対策工事が決まる

高崎線宮原駅南の宮原3丁目踏切と宇都宮線盆栽踏切、それぞれの拡幅と安全対策工事が決まりました。



宮原3丁目踏切

宮原3丁目踏切は今年度中に工事に向けた準備を行い、来年度には完成の予定です。盆栽踏切は今年度中～令和3年の3月いっぱいまで終了の予定です。私たちは合併以来、北区内の踏切の拡幅と安全対策を求め、ひとつひとつ実現してきました。これで、緊急に対策が必要な踏切(重点踏切と位置づけています)の工事はすべて終了することになります。今後は、残された踏切の安全対策を求めていきます。

令和2年10月21日～令和3年2月10日まで、車両の踏切内通行は24時間通行止めとなります。(歩行者と自転車は通行可能)



宇都宮線盆栽踏切

日本共産党 さいたま市議会議員

神田 よしゆき

無料生活相談所

毎日午前10時～12時
TEL 048-662-7363
北区宮原4-2-15

